

○四天王寺大学大学院履修規程

(目 的)

第1条 四天王寺大学大学院（以下「本学大学院」という。）における教育課程、履修及び単位の授与に関する事項等については、四天王寺大学大学院学則に規定するもののほか、この規程の定めるところによる。

(教育課程の編成)

第2条 本学大学院における研究科の教育課程は別表に定める。

(履修授業科目の登録)

第3条 学生は単位を修得しようとする授業科目について、所定の期間内に履修授業科目の登録（以下「履修登録」という。）を行わなければならない。

2 授業の進行や他の学生の学修の妨げとなるふるまいをする学生については、当該授業科目及び関連する授業科目において、研究科委員会の議を経て履修登録を取消す場合がある。

第4条 学生は、履修登録していない授業科目であっても、その授業科目担当者の許可を得て、これを臨時に聴講することができる。ただし、この場合、単位等は授与されない。

第5条 学生は、四天王寺大学で開講されている授業科目の履修を希望する場合は、その授業科目担当者の許可を得て履修登録し、四天王寺大学・四天王寺大学短期大学部科目等履修生に関する規程第2条乃至第6条に準じて科目等履修生として、これを受講することができる。

2 前項の場合、科目等履修登録料及び科目等履修料を免除する。ただし、その授業科目の履修に際して必要な教材費など、授業料以外に別途徴収される費用がある場合は、これを支払わなければならない。

第6条 各授業科目の成績の評価は100点満点とし、60点以上を合格として、その授業科目の単位を授与するものとする。

2 前項に定める成績の評価基準について、次のとおり定める。

評価	評価基準
秀	目標を十分に達成し、きわめて優秀な成果をおさめている（90点以上）
優	目標を十分に達成している（80点以上90点未満）
良	目標を達成している（70点以上80点未満）
可	目標を最低限度達成している（60点以上70点未満）
認	認定（入学前や他大学等で修得した単位）
不合格	目標を達成していないので再履修が必要である（60点未満）

3 第1項乃至第3項の評価については、これを学生に通知する。

第7条 次の各号のひとつに該当する者は、単位は授与されない。

- (1) 各授業科目について、所定の期間内に履修登録を行っていない者
- (2) 各授業科目について、その出席時数が当該授業科目の全授業時数の3分の2に満たない者
- (3) 授業料その他の本学への納付金を未納の者
- (4) 当該学期を休学した者
- (5) 当該学期途中で退学した者

2 前項第2号の規定にかかわらず、出席時数に代替する措置を講じた場合はこの限りでない。

附 則

この規程は、令和7年4月1日から施行し、令和7年度入学者から適用する。

別表 授業科目の編成・単位数

人文社会学研究科 人間福祉学専攻
博士前期課程

種別	授 業 科 目	単位数
専門講義科目	社会福祉学研究Ⅰ	2
	社会福祉学研究Ⅱ	2
	社会福祉学研究Ⅲ	2
	社会福祉学研究Ⅳ	2
	社会福祉政策・制度研究Ⅰ	2
	社会福祉政策・制度研究Ⅱ	2
	社会福祉政策・制度研究Ⅲ	2
	社会福祉政策・制度研究Ⅳ	2
	社会福祉援助技術研究Ⅰ	2
	社会福祉援助技術研究Ⅱ	2
	社会福祉援助技術研究Ⅲ	2
	社会福祉援助技術研究Ⅳ	2
専門演習科目	社会福祉専門演習Ⅰ	2
	社会福祉専門演習Ⅱ	2
	社会福祉専門演習Ⅲ	2
	社会福祉専門演習Ⅳ	2
	社会福祉専門演習Ⅴ	2
	社会福祉専門演習Ⅵ	2
専門研究科目	社会福祉学文献研究Ⅰ(和書)	2
	社会福祉学文献研究Ⅰ(外書)	2
	社会福祉学文献研究Ⅱ(和書)	2
	社会福祉学文献研究Ⅱ(外書)	2
	社会福祉調査法研究Ⅰ	2
	社会福祉調査法研究Ⅱ	2
	社会福祉学英语研究Ⅰ	2
	社会福祉学英语研究Ⅱ	2

専門演習において、主指導教員が担当する科目8単位と副指導教員が担当する演習4単位、社会福祉学研究、社会福祉政策・制度研究、及び社会福祉援助技術研究の専門講義科目のうち8単位を含め、計30単位以上(専門研究科目を含む)を修得しなければならない。

人文社会学研究科 人間福祉学専攻
博士後期課程

種別	授 業 科 目	単位数
特殊研究科目	社会福祉学特殊研究Ⅰ	2
	社会福祉学特殊研究Ⅱ	2
	社会福祉学特殊研究Ⅲ	2
	社会福祉学特殊研究Ⅳ	2
	社会福祉学特殊研究Ⅴ	2
	社会福祉学特殊研究Ⅵ	2
	社会福祉政策・制度特殊研究Ⅰ	2
	社会福祉政策・制度特殊研究Ⅱ	2
	社会福祉政策・制度特殊研究Ⅲ	2
	社会福祉政策・制度特殊研究Ⅳ	2
	社会福祉政策・制度特殊研究Ⅴ	2
	社会福祉政策・制度特殊研究Ⅵ	2
	社会福祉援助技術特殊研究Ⅰ	2
	社会福祉援助技術特殊研究Ⅱ	2
	社会福祉援助技術特殊研究Ⅲ	2
	社会福祉援助技術特殊研究Ⅳ	2
特殊演習科目	社会福祉学特殊演習Ⅰ	2
	社会福祉学特殊演習Ⅱ	2
	社会福祉学特殊演習Ⅲ	2
	社会福祉学特殊演習Ⅳ	2
	社会福祉学特殊演習Ⅴ	2
	社会福祉学特殊演習Ⅵ	2
講義特殊科目	社会福祉学文献特殊研究Ⅰ	2
	社会福祉学文献特殊研究Ⅱ	2

主指導教員が担当する社会福祉学特殊演習において計12単位を位修得する。

別表 授業科目の編成・単位数

看護学研究科 看護学専攻
博士前期課程

種別	授業科目	単位数		
		必修	選択	
共通科目	看護理論	2		
	看護研究Ⅰ（総論）	2		
	看護研究Ⅱ（統計）		2	
	看護倫理	2		
	国際看護論		2	
	哲学的人間論		2	
	看護教育論		2	
	看護管理論		2	
	コンサルテーション論		2	
	看護政策論		2	
	フィジカルアセスメント		2	
	最新病態生理学		2	
	臨床薬理学		2	
	専門科目	基礎看護学分野	基礎看護学特論	2
基礎看護学演習Ⅰ			2	
基礎看護学演習Ⅱ			2	
基礎看護学特別研究			8	
精神看護学領域			精神障害者制度・法律特論	2
			精神科アセスメントと精神科診断学	2
			精神療法	2
			精神科薬物療法	2
			精神看護高度実践看護介入技法	2
			精神障害者ケースマネジメント支援論	2
		リエゾン精神看護学	2	
		認知症治療看護援助論	2	
		役割開発実習	2	
		精神科診断・治療実習	2	
		精神看護直接ケア実習	2	
		精神看護サブスペシャリティ実習	2	
相談・調整実習		2		
精神看護学課題研究		4		
精神看護学特別研究		8		
生涯発達看護学分野		母性看護学特論	2	
		母性看護学演習Ⅰ	2	
		母性看護学演習Ⅱ	2	
	母性看護学特別研究	8		
	小児看護学領域	小児看護学特論	2	
		小児看護学演習Ⅰ	2	
		小児看護学演習Ⅱ	2	
		小児看護学特別研究	8	
	成人看護学領域	成人看護学特論	2	
		成人看護学演習Ⅰ	2	
成人看護学演習Ⅱ		2		
成人看護学特別研究		8		

種別	授業科目	単位数	
		必修	選択
専門科目	老年看護学領域	老年看護学特論Ⅰ（老年看護学の基盤）	2
		老年看護学特論Ⅱ（健康生活評価）	2
		老年看護学特論Ⅲ（病態・治療論）	2
		老年看護学特論Ⅳ（看護実践論）	2
		老年看護学特論Ⅴ（サポートシステム）	2
		老年看護学演習Ⅰ（慢性期における老年看護）	2
		老年看護学演習Ⅱ（ケア施設における老年看護）	2
		老年看護学実習Ⅰ（慢性期における高度実践老年看護）	4
		老年看護学実習Ⅱ（ケア施設における高度実践老年看護）	6
		老年看護学課題研究	4
		老年看護学特別研究	8
広域看護学分野	公衆衛生看護学領域	公衆衛生看護学特論	2
		公衆衛生看護学演習Ⅰ	2
		公衆衛生看護学特別研究	8
	在宅看護学領域	在宅看護学特論	2
		在宅看護学演習Ⅰ	2
		在宅看護学特別研究	8
広域看護学分野	災害看護学領域	災害看護対象論	2
		災害看護ケア論	2
		災害と制度	2
		災害看護援助論	2
		防災・減災看護論演習	2
		要援護者看護援助論	2
		災害看護連携論	2
		災害看護学実習Ⅰ	3
		災害看護学実習Ⅱ	2
		災害看護学実習Ⅲ	3
		災害看護学実習Ⅳ	2
災害看護学課題研究	4		
災害看護学特別研究	8		

共通科目から14単位以上、専門科目から16単位以上の合計30単位以上を修得し、修士論文または特定の課題についての研究の成果の審査および最終試験に合格すること。

看護学研究科 看護学専攻
博士後期課程

授 業 科 目		単位数		
		必修	選択	
共通科目	看護科学哲学	2		
	看護学研究方法論	2		
	高等社会統計学		2	
	看護教育学		2	
専門科目	基盤看護学分野	理論看護学特論		2
		理論看護学演習		2
		精神看護学特論		2
		精神看護学演習		2
	生涯発達看護学分野	母子看護学特論		2
		母子看護学演習		2
		成人看護学特論		2
		成人看護学演習		2
		老年看護学特論		2
		老年看護学演習		2
	広域看護学分野	公衆衛生看護学特論		2
		公衆衛生看護学演習		2
		在宅看護学特論		2
		在宅看護学演習		2
		災害看護学特論		2
災害看護学演習			2	
特別研究	看護学特別研究	8		

共通科目6単位、専門科目の専攻する分野から4単位以上、特別研究8単位の合計18単位以上を修得し、博士論文の審査および最終試験に合格すること。